

平成 27 年 2 月 19 日

公益社団法人日本コンクリート工学会

会長 三橋 博三 殿

(一般社団法人日本コンクリート診断士会 経由)

福井県コンクリート診断士会
会長 石川 裕真



国土交通省による技術者資格登録規程の公表を受けての要望書

平素より、福井県コンクリート診断士会の活動にご支援を頂き、厚く御礼を申し上げます。

さて、平成 27 年 1 月 26 日に国土交通省から示された「公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に関する技術者資格登録簿」において、コンクリート診断士は「橋梁（コンクリート橋）の点検業務」の分野でしか登録されないという非常に厳しい結果となりました。コンクリート診断士という呼称を持つ資格でありながら、肝心の診断業務の分野でコンクリート診断士が全く登録されなかったという事実は、コンクリート診断士に対する国土交通省からの評価が低いことを如実に示すものであります。この結果は、コンクリート診断士の社会的地位向上を目指して懸命に活動を行ってきた本会にとっても大きな衝撃であり、今後の活動に大変な危機感を抱いております。

我々、福井県コンクリート診断士会は、平成16年3月に全国に先駆けて設立し、早くからコンクリート診断士の技術力向上のための研鑽事業や地元自治体への技術協力などの活動を積極的に行ってきました。特に、地元自治体との密接な連携や協働は本会の大きな特長であり、自治体が所轄する橋梁長寿命化委員会への委員の派遣のほか、自治体職員向けの講習会の開催、福井県道路メンテナンス会議への協力などを行い、互いの信頼関係を築いてきました。これまでの活動を通じて、地元自治体にはコンクリート診断士の能力を評価して頂き、福井県内でのコンクリート診断士の資格要件化も幅広い分野で進んでおります。また、本会の活動の影響を受けた地元自治体では、福井県内のコンクリート診断士の資格取得者を増やしたいという意向も高まり、本会と自治体とが協力してコンクリート診断士受験者のための講座を開設するなど、コンクリート診断士の資格取得を志す方への支援も率先して行ってきました。今や、福井県のコンクリート診断士の登録者数は、人口比で全国のトップです。

このような過去11年にわたる努力を経て、コンクリート診断士の活躍の場がようやく見え始めたなかでの今回の残念な結果に、我々は失望の念を禁じ得ません。今般の評価は、コンクリート診断士の社会的地位向上に水を差すどころか、コンクリート診断士の地位低下をもたらすものであり、福井県でこれまで培ってきたコンクリート診断士に対する社会的な評価がこれを機に失墜することを強く危惧しております。

つきましては、次の事項に特段のご配慮を賜りますよう強く要望いたします。ご検討のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

要望事項

1. 国土交通省から示された今般の技術者資格登録簿において、コンクリート診断士が診断の分野で全く登録されないという結果に至った原因を明確にして頂きたい。
2. 上記、原因を明確にしたうえで、貴会としての今後の対策や方針を定めて頂き、これを速やかに公表頂きたい。
3. 今後の対策や方針に関して、本会として協力できることは是非とも前向きに協力させて頂きたい。